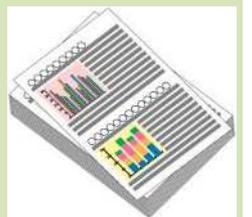




# 富士市施設カレント



令和7年3月 富士市



# 目次

施設カルテとは？	1
施設カルテ（凡例）	2
施設カルテ	
1.小学校	5
2.中学校	33
3.高等学校・専門学校	51
4.体育施設	57
5.博物館	67
6.図書館	71
7.文化施設	81
8.その他教育施設	85
9.まちづくり施設	93
10.市民交流施設	123
11.庁舎・事務所	127
12.消防施設	133
13.保育園	175
14.幼稚園	197
15.子育て支援施設	203
16.高齢者福祉施設	253
17.障害福祉施設	259
18.観光・産業振興施設	269
19.保健施設	275
20.医療施設	277
21.斎場・墓園	279
22.防災施設	283
23.環境衛生施設	287
24.その他施設	289

## 施設カルテとは？

富士市が保有する公共施設を類似の用途グループに分類し、各施設ごとに面積や構造などの施設概要、また施設の利用状況や管理費及び光熱水費等について、客観的に「見える化」するために作成したものが施設カルテです。

市内の類似した施設同士のカルテを比較することで、施設の抱える課題などを市民や利用者の方々に理解していただくことを目的に作成しています。

今後は、施設カルテの基本情報を基に、市民と行政が共に将来の適切な施設運営や施設整備の推進方法、施設のあり方を考え、将来の人口規模や財政状況の中でも継続して運営していけるよう、施設全体の有効活用と効率的運営の実現を目指していきます。

なお、本カルテは令和6年3月末現在のデータに基づき作成しました。

### □対象施設

下記の対象条件①または②の棟を1以上保有している場合、対象となります。

#### ・対象条件

① 建築物「棟」の規模（次のいずれかに該当するもの）

- 1) 階数が2以上の建築物「棟」
- 2) 延床面積が200㎡を超える建築物「棟」  
（施設を構成する上で重要な棟は、規模にかかわらず対象とする）

② 建築物「棟」の用途（規模にかかわらず対象とする）

防災上重要な施設（消防施設等）、不特定多数・弱者が使用する施設（児童クラブ等）の建築物「棟」

#### ・対象外の建築物「棟」

- 1) 簡易な建築物「棟」（駐輪場、カーポート、プレハブ物置、学校等の吹抜けの渡り廊下等）
- 2) 解体予定の建築物「棟」（建て替えを前提としない）
- 3) 別会計建築物「棟」（上下水道施設、中央病院）
- 4) 他の計画で策定している建築物「棟」（市営住宅、公園内施設）、プラント（新環境クリーンセンター、クリーンセンターききょう）
- 5) 歴史的建築物「棟」

### □調査方法

本市が保有している各施設及び各施設主管課に対し、令和元年度から令和5年度までの5年間の施設利用状況や※施設管理コストについて、アンケート調査を実施し、その結果を施設別に整理しました。

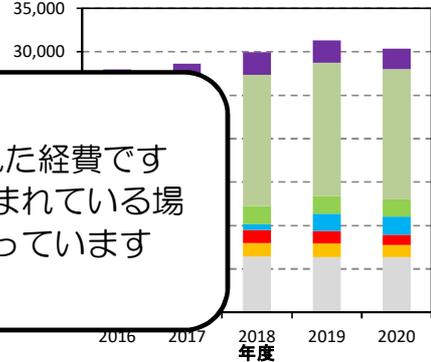
#### ※施設管理コスト

施設によっては、主施設側でコストを負担している施設もあるので、その場合のコストは、主施設側でまとめて計上しています。



■支出 (千円)		2016	2017	2018	2019	2020
トータルコスト	維持管理コスト					
	人件費	6,007.76	6,171.09	6,432.19	6,365.38	6,339.12
	委託費	397.46	489.69	1,550.23	1,586.02	1,431.45
	光熱水費	1,207.52	1,321.86	1,504.56	1,431.49	1,174.51
	修繕費	311.98	1,067.87	660.03	1,971.15	2,067.49
	工事費	1,262.52	258.34			
	借地料	2,121.85	2,121.85			
その他	-	-				
小計①	11,309.08	11,430.70				
指定管理料②	-	-				
運営コスト						
人件費	14,192.38	14,703.99				
その他	2,473.14	2,500.23				
小計③	16,665.52	17,204.17				
総計①+②+③	27,974.60	28,634.87	29,953.78	31,324.01	30,366.78	

■ 維持管理:人件費 ■ 維持管理:委託費  
 ■ 維持管理:光熱水費 ■ 維持管理:修繕費  
 ■ 維持管理:工事費 ■ 維持管理:賃借料  
 ■ 維持管理:その他 ■ 指定管理料  
 ■ 運営:人件費 ■ 運営:その他



施設に投入された経費です  
指定管理料に含まれている場合は空欄となっています

図3. 各種コストの推移

■収入 (千円)		2016	2017	2018	2019	2020
国・県支出金		-	-	-	-	-
地方債		-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-
総計		-	-	-	-	-

施設の維持管理のための収入です

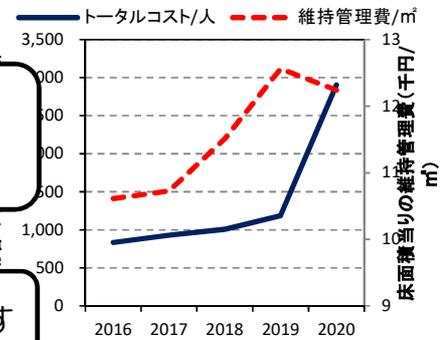


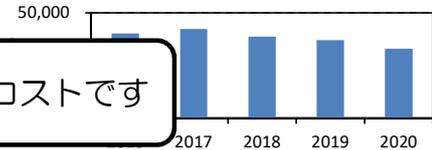
図4. 単位当りのコスト・維持管理費の推移

■専有面積当たりの建物維持管理コスト (円/㎡)		2016	2017	2018	2019	2020
光熱水費/㎡		1,133	1,207	1,505	1,432	1,175
その他/㎡		9,478	9,478	9,478	9,478	9,478
維持管理コスト/㎡		10,611	10,723	11,982	12,908	12,749

㎡当たりのコストです

■利用者一人当たりのコスト (円/人)		2016	2017	2018	2019	2020
トータルコスト/人		833	833	833	833	833

利用者1人当たりのコストです



■光熱水使用量 (上段:量、下段:床面積当たりの量)		2016	2017	2018	2019	2020
電気 (Kwh)	量	40,213	42,301	38,687	36,907	32,809
	床面積当たり	37.7	39.7	36.3	34.6	30.8
都市ガス (m)	量	60	55	55	45	30
	床面積当たり	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
LPガス (m)	量	-	-	-	-	-
	床面積当たり	-	-	-	-	-
上水道 (m)	量	265	267	273	252	148
	床面積当たり	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1

光熱水費の実績です

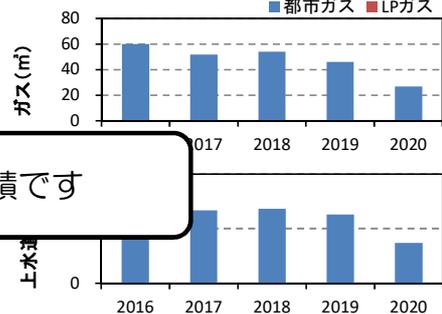


図5. 光熱水使用量の推移

■主な工事履歴 (500万円以上) (千円)		請負金額
年度	工事件名	
1981	新築給排水衛生設備工事	7,050.00
1981	新築空調設備工事	7,000.00
1981	新築電気設備工事	18,800.00
1981	新築主体工事	110,600.00

過去の建物改修履歴です

